

# 奥会津 だより

2004年夏  
第25号

## 笹舟で遊ぶ

きらきら光る水の流れ  
優しい風を帆に受けて

いざ旅立とう

笹舟『ゆめ急便』

天の河ゆき

あみの顔

花火が照らす

暑い夜

穴澤 李佳さん(館中)



### 奥会津つれづれ

今年の梅雨は雨が少ない。それでも生き物はみんないきいきとして、毎日植物も動物も成長しているのが、今の季節だ。

青々とした水田から、毎日カエルの大合唱が聞こえてくる。仕事の帰り道辺りは真っ暗でも、カエルの鳴き声がそこらじゅうから聞こえてくるので、ちっともこわくない。どこにいるの？と思いつつも、毎晩耳を澄ましている。

家の軒先には、毎年ツバメが巣を作って忙しそうに動き回っている。朝夕とチェックしているけれど、なかなかヒナが生まれない。失敗したのかな、と不安に思っていた矢先に、6羽のヒナが騒がしいほどの鳴き声で親の帰りを待っているのが見えた。

ヒナが育つには植物が生い茂って、虫が増えて、ツバメの親がそれを取って与える、そんな当たり前にも思える自然のサイクルがあるからこそ、ヒナがすくすくと育っていくのだ。

先月開催した『森と水辺のシンポジウム』でも、ブナ林や水辺林があることで、多様な生物が住むことができ、それをエサにする動物が生きていけるといふこと、またそれらの林は再生が難しいからこそ、保全することが大切だということを考えさせられた。

我が家のツバメのヒナももうすぐ巣立っていく。来年もまた新しい生命が生まれることを願いながら、その口を待とう。

# 道・探訪

みち・たんぼう 其の一

## 檜枝岐村

— ひのえまたむら —



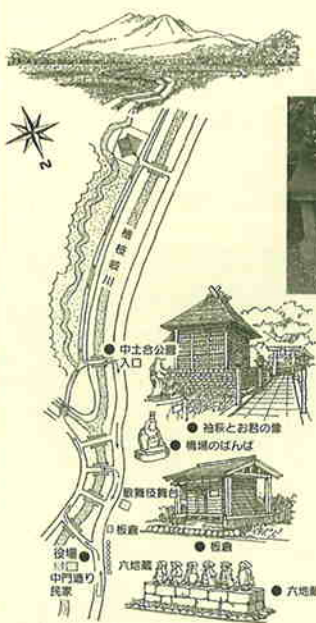
六地藏

檜枝岐川に沿った国道352号線は、檜枝岐村に入ったとたん、鄙びた温泉郷の風情が漂ってくる。

通りの大きな桂の木の下には、帽子と前垂れをつけた六地藏が鎮座している。ここから100メートルほど右方に鎮守神社の幟が見えてくる。



橋場のばんば



■鎮守神祭奉納歌舞伎  
8月18日(水) 午後5時30分開演(入場無料)  
■檜枝岐歌舞伎の夕べ  
9月4日(土)・5日(日) 午後6時30分開演(1,000円・村内宿泊者は無料)  
檜枝岐村企画観光課 TEL: 0241(75)2503



檜枝岐歌舞伎

狭い参道脇に鎮座する橋場のばんばは、子供を水難から守る水神様といわれているが、縁切り、縁結びの象徴として、たくさんのハサミが奉納されてもいる。

参道の奥に鎮守神社があり、拜殿を仰ぐ形で舞殿が建てられている。江戸時代から農民が伝えてきた歌舞伎は、年に2回この舞殿で奉納され、内外の見物客でにぎわう。

## 館岩村

— たていわむら —



国道352号線に面した前沢ふるさと公園から館岩川を越えると、茅葺の水車小屋が見えてくる。ここを起点に季節の花畑を愛でながら木道を進むと、圧倒的な茅葺民家が建ち並ぶ曲屋集落に至る。すがやかな水が流れる小川に浸してある野菜が、今も息づいている曲屋の営みを伝えている。

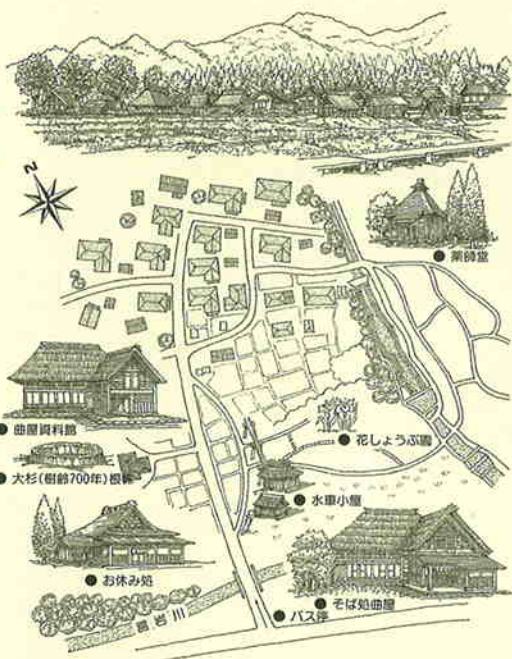
館岩川の下流、塩の原には、御蔵入三十三観音札所のひとつに数えられている泉光寺観音堂がある。二間四方の方形造りの堂には、千手観音が安置されており、会津高原に浄土真宗を布教した寺のゆかりが偲ばれる。



泉光寺観音堂



水車小屋



■たていわ前沢曲家まつり  
10月31日(日) 前沢曲家集落  
館岩村役場企画観光課 TEL: 0241(78)3330



第4回作品 撮影者:長島利雄 撮影地:昭和村



第3回作品 撮影者:松村喜一 撮影地:館岩村

### 奥会津 とっておきの 風景

フォトコンテスト入賞作品より  
★詳しい撮影場所は協議会のHPへ

灯籠流し

(柳津町)

旧盆の8月10日。圓蔵寺内の菊光堂で、毎年慰霊の祈願祭が行われる。夕闇せまる頃、只見川には数えきれないほどの灯籠が浮かべられ、ゆっくりゆっくり流れて行く。

川は、あの世とこの世を結ぶところ。灯はその道しるべ。

流灯のゆらめく灯りが、水面をすべりながらあの世からの道を照らす。

盆は、亡くなった家族がより近くに感じられる時だ。お墓参りに帰郷する家族連れで、奥会津の町や村は、一時華やかなあだ花のように家々が賑わい、道は活気を取り戻す。

撮影・佐久間 庄司



OKUAIZU  
ふるさと  
写真館

写真・文：竹島 善一



▲小さな沢に沿って家並みが続く。その配置に、ある調和を見る。土地の形と力に合わせた住まいの姿には無理がない。(伊南村小塩・昭和50年11月)

▲ここで檜枝岐川と鎗岩川が合流する。街道は二手に分かれる。大きな萱屋根の家々は大家族を支え、旅人には宿ともなった。(伊南村内川・昭和51年9月)

TOPICS

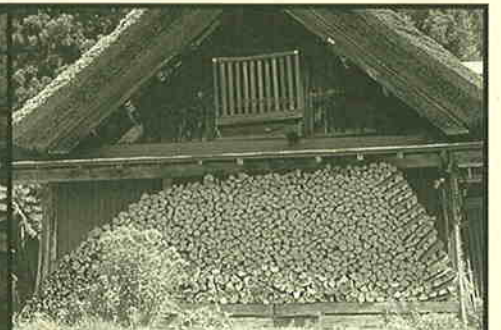
森と水辺のシンポジウム開催

平成16年6月13日(日)、只見町季の郷・湯ら里において、森と水辺のシンポジウムを開催しました。

会場には約150名の参加者が集まり、午前の部は「ブナがなぜ大切か」「水辺林はなぜ必要か」「只見川流域のブナ林と生物多様性」という3つのテーマについて、それぞれの専門家による講演が行われました。

午後の部は、パネラー6名と京都大学名誉教授河野昭一先生をコーディネーターに迎えて「ブナ林と水辺林から地域社会を考える」というテーマでパネルディスカッションが行われました。

只見川流域のブナ林と水辺林の価値を知り、今後の保全の重要性について、パネラーと会場からも議論が交わされました。



第6回作品 撮影者：広野資郎 撮影地：南郷村



第4回作品 撮影者：廣野賢二 撮影地：檜枝岐村



第6回作品 撮影者：高田健三 撮影地：金山町

思い出の一品



「冷や汁」

炎天下の農作業は、暑さと汗と虫との闘いだ。  
 一服の午睡を破るセミ時雨。火照った体に流し込む冷や汁は、クーラーよりも、寿司よりも、何よりもまいごつつお(ご馳走)だ。

＊作り方＊  
 薄く輪切りにしたきゅうり、青シソの葉とネギの青い部分を細かく刻んで、すった黒ごまと味噌を混ぜ、冷たい水を注いで出来上がり。好みで水を浮かせると涼味が増す。  
 ミヨウガなど、採り立ての夏野菜を具にすると美味しい。



思い出を一言



小堀 サイさん (三島町)

夏の暑い日には、午前中の田畑仕事の帰りに清水の水を汲んで来て、お昼に冷や汁を作って食べました。昔は冷凍庫なんてなかったから、清水の水が一番冷たかった。生活の智慧で夏バテ防止の食べ物です。そしてまだ、午後から農作業に出ました。母親も姑さんも作ってくれたので、昔の味を教えたいと思って孫にも食べさせています。

博物館・美術館めぐり

河井継之助記念館 (只見町)



公正と誠実をを基本に長岡藩の改革を進めた幕末の風雲児・河井継之助の遺品やパネルなどが展示されています。河井は越後長岡藩家老で、戊辰戦争を回避させようと西軍と談判、決裂。その戦いで受けた傷のため、この地で亡くなりました。戊辰戦争では奥羽越前同盟軍を総指揮しています。記念館の隣には継之助の墓(医王寺)や、製塩を行っていた当時の資料を展示した山塩資料館もあります。

- 開館期間：時間：毎年4月中旬～11月末、9時～17時
- 休館日：毎週日曜日
- 入館料：大人300円 高校生100円 団体割引20名、
- TEL：(0241) 822870

いべんと告知板

伊南川半日ラフティング体験

〔日時〕平成16年7月31日(土)、8月1日(日)  
 〔午前の部〕午前9時～正午  
 〔午後の部〕午後1時～4時  
 〔集合〕南会津郡只見町青少年旅行村  
 〔参加料〕お一人様3,000円(小学生は1,500円)  
 ガイド料・装備レンタル料・保険代含む  
 〔参加条件〕小学3年生以上の健康な方  
 〔募集人数〕午前・午後とも各6名まで  
 〔申込先〕青少年旅行村いこいの森キャンプ場  
 電話02418222432

水の郷まつり

〔日時〕平成16年8月1日(日)  
 午前10時～午後9時(予定)  
 〔場所〕南会津郡只見町只見湖公園・田子倉湖  
 〔内容〕カブトムシつかみやダムの見学、魚つかみ大会の他、夜は湖上火火大会など。  
 〔参加料〕魚つかみ大会のみ有料  
 大人1,000円・子供500円  
 〔問合せ先〕只見町商工会  
 電話0241822380

湖と妖精のフェスティバル

〔日時〕平成16年8月7日(土)、8日(日)  
 7日(土)午前12時～午後9時まで  
 8日(日)午前10時～午後3時半まで  
 〔場所〕大沼郡金山町沼沢湖周辺  
 〔内容〕カナディアンカヌー試乗体験、水上ゲーム大会、大蛇伝説の再現や夜の花火大会など  
 〔問合せ先〕金山町役場産業振興課  
 電話0241545327

子供溪流まつり

〔日時〕平成16年8月8日(日)  
 午前10時～10時30分まで受付  
 〔場所〕南会津郡鶴ヶ村湯ノ岐川・しらかば公園  
 〔内容〕岩魚のつかみ捕り、いかだ乗り、前沢曲屋資料館見学他  
 〔参加料〕500円(村内に宿泊された方は無料)  
 〔問合せ先〕鶴ヶ村観光協会  
 電話0241782546

霊まつり、稚児行列、流灯花火大会

〔日時〕平成16年8月10日(火)  
 午後4時～稚児行列、午後7時半～花火大会  
 〔場所〕河沼郡柳津町圓蔵寺周辺  
 〔内容〕きらびやかな衣装をまとった稚児行列の他、花火大会などを開催。  
 〔参加料〕稚児行列に参加する方は2,500円(衣装代・写真代等含む)  
 ※申込み締切り7月25日まで  
 〔問合せ先〕柳津町観光工課  
 電話0241422114

久川の里和太鼓交流フェスタ「ねっかさすけねえく其の7」

〔日時〕平成16年8月14日(土)、午後5時開演  
 〔場所〕南会津郡伊南川地域交流センター  
 〔内容〕久川城太鼓保存会、久川城子供保存会、和太鼓集団「天邪鬼」他真夏の夜の和太鼓の競演。入場無料  
 〔問合せ先〕伊南川企画振興課  
 電話0241767715

親子カジカ獲り大会

〔日時〕平成16年8月15日(日)午前10時～正午  
 〔場所〕南会津郡檜枝岐村  
 ミニ尾瀬公園前檜枝岐川  
 〔内容〕カジカのつかみ捕り  
 (捕れなくても一匹プレゼント)  
 〔参加料〕お一人様1,000円  
 (村内に宿泊された方は500円)  
 〔問合せ先〕檜枝岐村企画観光課  
 電話0241752503

聞き耳袋

機道(はたみち)  
 機織りは十四歳頃からやっていたよ。機道つちゅうは、覚えきったってはねえっていうが、若い頃に覚えたもんは忘れねえ。覚えきったら目より心で見える。  
 (山内サトミさん・昭和村)

第9回 歳時記の郷 奥会津 全国俳句大会 8/28(土)▶29(日) 今年は金山町で開催!

〔場所〕金山町多目的体育施設「御神楽館」  
 ◆28日(土)午後1時開会 ◆29日(日)午前9時開会  
 選評/表彰式/俳句談義/語り部 囃目吟の講評/表彰式

入場無料

流域間の無料シャトルバスを希望する方は、ご利用希望の奥会津大会事務局の奥会津事務局までお申し込みください。